

第2回 さいたま市教育行政点検評価委員会

日 時 令和3年7月20日(火)
午後1時30分～
場 所 市役所第二別館 教育委員会室

－ 次 第 －

- 1 開 会
- 2 議 題 (1) 第1回さいたま市教育行政点検評価委員会の結果について
(2) 各施策についての点検・評価
- 3 閉 会

第2回さいたま市教育行政点検評価委員会 出席者名簿

1 さいたま市教育行政点検評価委員 (敬称略)

職	氏名	役職等
委員長	(ほそぶち とみお) 細渕 富夫	川口短期大学特任教授
委員	(はしもと まさはる) 橋本 正晴	青少年育成さいたま市民会議常任理事
委員	(おかの いくひろ) 岡野 育広	さいたま市PTA協議会会長

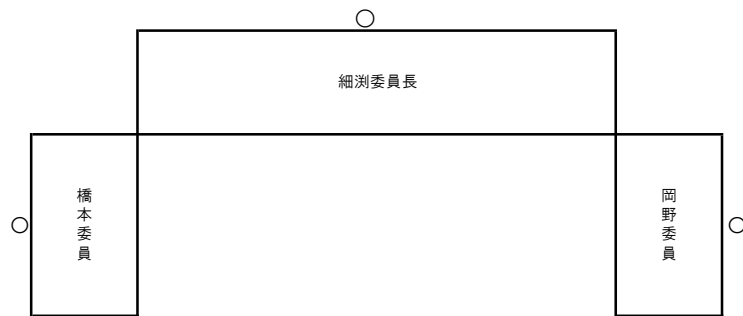
2 各施策についての点検・評価に関する出席者

	氏名	役職
1	藤田 昌一	学校教育部 参事 (兼) 指導1課長
2	浅見 正史	〃 参事 (兼) 指導2課長
3	内野 多美子	〃 総合教育相談室長
4	山本 康義	〃 参事 (兼) 高校教育課長
5	宮野 充	〃 健康教育課長
6	山本 高弘	生涯学習部 参事 (兼) 生涯学習振興課長
7	釜 浩美	〃 人権教育推進室長
8	青木 文彦	〃 参事 (兼) 文化財保護課長
9	引間 陽子	〃 参事 (兼) 青少年宇宙科学館長
10	高力 弘	〃 博物館長
11	酒井 浩志	〃 参事 (兼) うらわ美術館副館長
12	中村 和哉	〃 参事 (兼) 生涯学習総合センター副館長
13	樋爪 勇司	〃 参事 (兼) 中央図書館管理課長
14	尾崎 尚子	〃 参事 (兼) 資料サービス課長

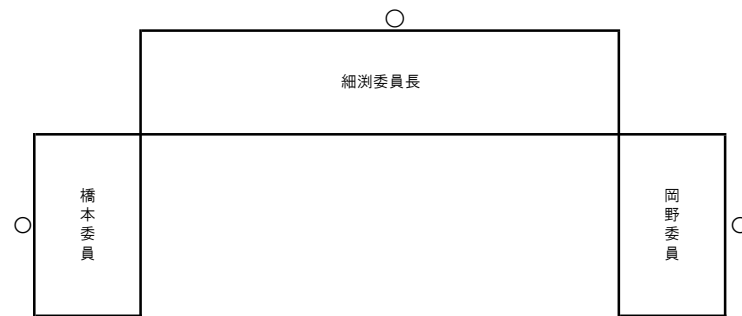
3 事務局

	氏名	役職
1	野津 吉宏	管理部 参事
2	玉崎 芳行	〃 参事 (兼) 教育政策室長
3	片倉 淳平	〃 教育政策室 室長補佐
4	石原 裕太	〃 教育政策室 主幹
5	鐘ヶ江 順平	〃 教育政策室 主任

第2回さいたま市教育行政点検評価委員会 前半



第2回さいたま市教育行政点検評価委員会 後半



- | | | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------|-------|---------------|
| 指導1課長 | 指導2課長 | 高校教育課長 | 健康教育課長 | 管理部参事 | 教育政策室
室長 |
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 総合教育
相談室長 | 生涯学習
振興課長 | 人権教育
推進室長 | | | 教育政策室
室長補佐 |
| ○ | ○ | ○ | | | ○ |

傍聴席(3席)

- ○ ○

教育政策室 主幹	教育政策室 主任
-------------	-------------

- ○

- | | | | | | |
|--------|---------------|-----------------------|---------------|--------------|---------------|
| 健康教育課長 | 生涯学習
振興課長 | 文化財保護課長 | 青少年
宇宙科学館長 | 管理部参事 | 教育政策室
室長 |
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 博物館長 | うらわ美術館
副館長 | 生涯学習総合
センター
副館長 | 管理課長 | 資料サービス
課長 | 教育政策室
室長補佐 |
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

傍聴席(3席)

- ○ ○

教育政策室 主幹	教育政策室 主任
-------------	-------------

- ○

議題（１） 第1回さいたま市教育行政点検評価委員会の結果について

《 1 12年間の学びの連続性を生かした「真の学力」の育成》

1-(1) ICTを活用した学びの改革

- ・ICTを活用した学びについては、これまでの教育実践とICTを活用した教育実践のそれぞれの良さを生かし、ベストミックスを図り、最適な授業として充実するよう、引き続き、GIGAスクール構想を推進してほしい。

1-(4) さいたま STEAMS 教育の推進

- ・研究委嘱校の研究の成果を共有し、各学校にて活用し、さらなるSTEAMS教育の推進を期待している。
- ・令和4年度の「STEAMS TIME」の全校実施に向けて、スケジュール調整等難しそうではあるが、段階を踏み、着実に推進してほしい。

1-(8) 館岩少年自然の家を活動拠点とした自然体験活動の充実

- ・自然体験活動でのアンケートによる効果測定や、プログラムの選定等を工夫し、児童生徒の「非認知能力」を高めていくため、引き続き、自然体験活動を推進してほしい。

2-(2) さいたま市小・中一貫教育の推進

- ・小・中学校のそれぞれの教員が双方の授業を把握し、専門性を高め、小・中9年間の教科における学習内容の関連性を意識した指導をより一層充実させてほしい。

4-(1) スクールアシスタント配置の推進

- ・スクールアシスタントの各学校への配置については、各学校の実態に即した配置になるよう工夫し、児童生徒へのきめ細かな支援を継続してほしい。

4-(2) 子ども読書活動の推進

- ・引き続き、子どもたちの読書活動が推進できるよう、各図書館における資料の展示やイベント等を工夫するとともに、家庭・地域・学校等と連携し、各取組を進めてほしい。

《 5 「未来を拓くさいたま教育」 推進のための基盤整備 》

1-(1) 学校における働き方改革の充実

- ・学校業務改善表彰における業務改善に係る効果的な取組は、他の学校でもそのノウハウが共有できるよう積極的に検討してほしい。
- ・学校における働き方改革については、モデル校を取り入れるなど、様々な工夫や改善を図り、教員が健康で能力を最大限発揮して働くことができるよう取り組んでほしい。

2-(3) 自転車免許制度等の推進

- ・自転車乗車用のヘルメットの着用については、引き続き、ヘルメットの配布を計画的に進め、着用率を向上させるとともに、児童・生徒の安全に対する意識の醸成に努めるなど、安全指導の徹底を図ってほしい。

3-(1) 過大規模校等教育環境整備の推進

- ・義務教育学校の新設については、既存の小・中学校と異なる学年制になるため、子どもたちの心の面についても考慮しながら推進し、さらなる本市の教育の質の向上を目指してほしい。
- ・学校規模の不均衡の解消に当たっては、義務教育学校を始めとした新設校の設置や通学区域の調整など良好な教育環境の整備に努めてほしい。

3-(3) 学校トイレの洋式化等の推進

- ・学校トイレの洋式化については、今の子どもたちは洋式トイレに慣れ親しんでいるため、なるべく早期に洋式化が完了するよう、努めてほしい。